第１０回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会【参加チーム演技情報】

ブロック名	都道 府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト （300文字程度）	チーム紹介 （100文字程度）	参加 回数	本大会 出場実績
北海道・東北	北海道	北海道美唄聖華高等学校	演劇	大きな魚～SDGｓについて	私達はSDGｓの目標である【海の豊かさを守ろう】に関する内容から劇が始まります。1匹の魚から環境保全について考えました。また、環境保全とは一見関係なさそうですが、【人と人との間に不平等をなくすこと】というSDGsの目標にも関連させ、聴覚に障がいがある・ないに関わらず皆が住みやすい社会の実現を目指していきたいという願いも込めました。今後の生活についても考えさせられる内容になっています。	私達は校訓である思いやりある笑顔と言葉が実践できる看護師を目指し高校１年生から看護について学んでいます。看護師として働いた時に、手話によるコミュニケーションが図れるよう部活動で日々練習を重ねています。	4	○
北海道・東北	青森県	青森聾学校	漫才	尊い	演技のコンセプトは、「手話をしてみたい」という気持ちの醸成です。見て下さっている方々が、自然と手を動かしてみたいという気持ちになったら、私たちの思惑通りです。そのために、手や指の形、位置や動きが似ている手話を多く使用しています。言葉で説明するよりも、視覚的に意味を捉えやすい手話もあります。演技の決め台詞ならぬ、決め手話は「尊い」。日常生活の様々な場面で使える「尊い」。是非、みなさんにも普段使いしていただきたいという気持ちを込めて演技しています。私たちの演技を見終えたら、「尊い」の手話を自然としたくなっているはずです。	青森聾学校は、青森県内で唯一、高等部のある聾学校です。今回の出場生徒は３名と少ないですが、今年度は漫才で笑いを届けます。 私たちのパフォーマンスを見たら、絶対に手話をしてみたくなるはず！	3	○
北海道・東北	岩手県	大船渡東高等学校	演劇	秋刀魚味のラーメンを広めよう	私達の地元で有名な秋刀魚が大漁の年があり、本校の食物文化科では食品ロスを無くすことを考えます。そこで思いついたのが「秋刀魚味のラーメン」です。このラーメンを漁師の方に食べてもらうために私たちが文化祭で運営する食物文化科食堂に招待しました。漁師の方はとても喜びましたが、ろう者の椿ちゃんにまで情報がまわってこず、秋刀魚味のラーメンについて知りません。食物文化科は「人を笑顔にする」ために料理を作っています。その目標を達成するために、どのようにろう者の方にも情報発信していくかを演技で表しました。途中で登場する「わかめ大福」も自分たちの手作りで、最後に登場する秋刀魚武士は地元のキャラクターです。	授業で手話に興味を持ち楽しみながら学んでいます。一から手話を学ぶのはとても苦労したが、全員でアドバイスしながら頑張っています。地元のわかめで大福も手作りしました震災を乗り越えた椿ちゃんにもご注目！	初	ー
北海道・東北	秋田県	秋田県立聴覚支援学校	歌唱	秋田県民歌	「秋田県民歌」は雄大な旋律と郷土愛あふれる歌詞に魅力があり 、日本三大県民歌とも言われます。今では、プロスポーツのホームゲームなどで合唱されるなど、県民にも親しまれています。本大会に初挑戦するにあたり、秋田の魅力を知ってもらおうと「秋田県民歌」を手話で歌うことに決めました。しかしこの歌には手話表現がありませんでした。そこで、歌詞の意味を考え、どうすれば秋田の魅力を存分に表現できるかを相談して作りました。県民歌は、山や湖など自然を歌い上げる１番、森林や田畑、地下の豊富な資源などを称える２番、偉人や歴史を敬う３番、民俗性や県民性を表した４番から構成されますが、今回は１番と２番を披露します。	秋田県立聴覚支援学校高等部です。初挑戦の今年度、在籍男子５ 名全員で出場します。ふるさと秋田の豊かな魅力を伝えるべく、心を込めてパフォーマンスをします。見てたんせ～ ！ ！	初	ー
北海道・東北	福島県	聖光学院学校	ダンス・演劇	みんなで手を取り合って助け合おう！	今の高校生は、東日本大震災やコロナ、そして他地域の戦争など数々の逆境に立たされて、日々の生活に楽しみを感じることが少ないが、仲間と手を取り合って今の今できることをやって行くことの大切さを皆さんに伝えたいと考え演技しました。今回の楽曲は手話部と同じように少数で活動しているブラスバンド部に協力してもらいました。	聖光学院といえば野球部の甲子園出場が有名です！ 創部２ 年目の手話部も、もうひとつの「甲子園」を目指して、部員１ ３ 名が全力で楽しく手話パフォーマンスを頑張っています。目標は、本選に出場することです！	2	ー
関東	茨城県	竹園高等学校	演劇	人魚姫	「誰もが楽しめる人魚姫」を目指してシナリオを作成しました。手話を初めて見る人魚姫の初々しい様子を表現するのに、手話でない独自の表現も交えました。また、人魚姫と王子様の距離が縮まる様子も、座る位置や「愛してる」の手話表現に込めました。大切な人を守っていきたい気持ちが伝わると嬉しいです。	2 回目の出場となる今回は、演劇に挑戦します。自分たちでシナリオを考えた、耳の聞こえない人魚姫。王子様と人魚姫の初々しくも美しい恋物語をお楽しみください。細やかな小道具、ナレーターにも注目です！	2	ー

第１０回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会【参加チーム演技情報】

ブロック名	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト（300文字程度）	チーム紹介（100文字程度）	参加回数	本大会出場実績
関東	栃木県	栃木県立聾学校	演劇	わたしと父	この演劇は実際に私の体験を基にしています。私は生まれた時から耳が全く聞こえません。そんな私に対して母や弟は会話をするときには必ず指文字や手話を使ってくれます。しかし父は使ってはくれません。もやもやした気持ちを抱えたまま生活していた私ですが、父には手話を使わない理由がありました。そこには、父なりの私に対しての想いが隠されていました。わたしと父との家族愛をどうぞご覧ください。	立聾学校は、今大会初めて私たち栃木県参加します。もっと多くの方に手話を知ってもらいたいと考え参加を決意しました。良いパフォーマンスを皆さんにお見せできるよう頑張ります。よろしくお願いします。	初	ー
関東	栃木県	佐野高等学校	演劇	耳が聞こえないシンデレラ	多くの人が知っているであろうシンデレラの物語を、私達なりに変えて作り上げました。世の中では、未だろう者への差別や偏見がなくなっていないと感じます。しかし、耳が聞こえないだけでつらい思いをするのはおかしいと思いました。私達は、差別をする人々を義母達と重ねて表現し、王子や魔法使いに私たちの思いをのせました。耳が聞こえなくなったシンデレラは、義母たちからひどい扱いを受け、舞踏会用のドレスも破られてしまいますが、魔法使いによって王子と運命の出会いを果たします。昔からの義母からの扱いにより自信を無くしていたシンデレラ。王子と読唇術で会話していましたが、ついに王子は耳が聞こえないことに気付きます。	私たちは、栃木県立佐野高等学校から来ました。経験者がいないので大変なこともありましたが、私たちなりに全力で取り組みました。 この劇を通して、私たちの考えた「幸せ」を感じてもらえたら幸いです。	初	ー
関東	群馬県	安中総合学園高等学校	ダンス	手話とダンスの融合	ドラマ「silent」の主題歌であるOfficial髭男dismの「Subtitle」の楽曲にのせて、手話とSTYLE HIPHOPと呼ばれるダンスでドラマの世界観を表現します。「silent」は若年発症型両側性感音難聴をテーマにしたドラマです。耳が聞こえなくなっている自分に気付いたときの葛藤、それでも前に進もうとする主人公の前向きな気持ちを私たちのパフォーマンスを通して伝えることができたら幸いです。 ―言葉はまるで雪の結晶－ パフォーマンスの中で白い布を使用していますが、これは雪の結晶を表しています。雪が溶けても残っている……それはあなたにとってどんなものでしょうか？私たちが残したいもの。それは、ろう者の方とろう者以外の方が共生する社会の実現です。そんな愛に溢れた世の中になることを祈って、私たちは踊り続けます。	私たち群馬県立安中総合学園高校ダンス部は人間的に成長する、最高の仲間をつくる、高校ダンス部日本一を目標に日々活動しています。今回は３ 年生１ ５ 人で、手話とダンス を融合した作品をお届けしたいと思います。	初	ー
関東	群馬県	群馬県立聾学校(Aチーム)	演劇	「石の行く末」	実録の聾者の歴史が学べる「段また段を成して」という短編映画の内容をもとにした。私たち聾者の人権や日常が保障されるようになった現代は、過去の名も知らない小さな偉人たちが積み重ねた長年の努力や悲願が実を結んで実現したものだと、先の映画を鑑賞して強く痛感したからだ。今を生きる若者（聾者含む）、そしてまだ何も知らない人たちに、聾者への差別や偏見の歴史を知ってもらいたい。そして、今の私たち聾者の日常に気付きをもって関わってもらいたいという思いをこの作品に込めた。なお、演技タイトルの「石の行く末」の「石」には、チームのテーマでもある仲間の「意思」の意味も掛かっており、聾者の未来への願いを表したものである。	群馬県立聾学校高等部チームA です。皆で話し合って決めた「仲間」というテーマ。元気いっぱいな高3 が３ 人。高２ が2 人。高1 が1 人の6 人チームです。ぜひ最後まで私たちの演劇をお楽しみ下さい。	2	ー
関東	群馬県	群馬県立聾学校(Bチーム)	演劇	「努力は未来に繋がる」	劇のテーマは「努力は未来に繋がる」です。なぜ、今の私たちが自動車運転免許を取得できたり、コミュニケーション手段が増えて生活しやすい社会になってきたりしたのかを話し合いました。そして、辿りついたのが先人ろう者たちのろうあ運動です。今の私たちの生活は、先人ろう者たちの汗と涙と努力の結晶だと考えました。劇の最初に、大学生のタクトと高校時代の友人がカフェで会い、友人が祖父から聞いた話や昔のろうあ運動が始まったきっかけに遡ります。そこではバイクを運転をしていたろう者が警察官から差別をされたと感じます。劇の最後は、将来、今より生活しやすい社会にするためにはどうすればいいかをタクト達は考えます。	群馬県立聾学校チームＢ のテーマは「努力は未来に繋がる」です。先人たちのろうあ運動での権利獲得の努力を受け継ぎ、私たちに何ができるだろうかと考える様子を手話劇で表 現しました。	2	○
関東	埼玉県	坂戸ろう学園	演劇・ポエム	結を紡ぐ海～未来に～	東日本大震災が発生したあの日。ろう者の死亡率は、聴者より２倍多かったという。聞こえない故に逃げ遅れたのか。でもそれを当たり前にはしてほしくない。それこそがろう者に対する差別だ。街に鳴り響く津波警報のアナウンス。聞こえない私は何も出来ず、周りを見て状況を推測するしかなかった。無事避難所に辿り着いても、周りは聴者ばかり、孤立感は深まる一方であった。もし、聴者とコミュニケーションが取れていたら、もっと助かったろう者がいっぱいいたであろう。聴者にろう者の存在を知ってほしい、ただそれだけ。そして、ろう者にもできることはたくさんある。聴者とろう者が手を取り合い、お互いに協力し合える社会を築いていきたい。	６ 人 の 共 通 の 想 い は 情 報 保 障 の 大 切 さ に つ い て 。 特 に 被 災 時 は 情 報 格 差 が 命 取 り に 繋 が る 当 時 の ろ う 者 の 様 子 を 想 像 し 、 作 品 を 作 り 上 げ て き た 。 聴 者 と ろ う 者 の 対 等 な 関 係 の あ り 方 と は 何 か 、 作 品 を 通 し て 伝 え て い き た い 。	4	○

第１０回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会【参加チーム演技情報】

ブロック名	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト（300文字程度）	チーム紹介（100文字程度）	参加回数	本大会出場実績
関東	埼玉県	大宮ろう学園	演劇・ポエム	隣のろう者	現在、コロナが収束してきて、外国から多くの人が日本に来るようになった。コロナ禍前の様子を取り戻し始め、いろいろな言語が街の中で多く見られている。あるろう者は、日常生活の中で壁にぶつかっていた。今回の演目は、実体験をもとにしている。ろう者は、聞くことや話すこと以外は、なんでもできる。ろう者でも聴者を助けられる。コロナが収束しつつある今日、ろう者の存在が忘れられてきている気がする…。私たちは、社会のみんなにろう者はいる！と伝えるために活動したい。みんな幸せに過ごすために。	5 人は部活がそれぞれ違って、練習の調整が大変でした。しかし、みんな優勝したい気持ちを強く持ち、集まりました。今まで頑張ってきたことを、全力で伝えたいと思います。	2	○
関東	千葉県	松戸向陽高等学校	歌唱・ダンス	スマイルストレッチ	私達は、誰もが簡単にできる手歌を考えました。施設実習に行くと、耳が聞こえず、レクリエーションに参加できない方もいらっしゃったので、誰もが簡単に楽しくレクリエーションに参加できるようにと、立っている人と座っている人とで手歌をしてみました。スマイルという曲のように、いつでも笑顔でいられるように。	私達は、介護福祉士の資格取得を目指している福祉教養科に通う１・２年生です。実際に、施設に行かせて頂いたり、地域との交流をして、日々福祉を学んでいます。手話に興味を持つ、個性溢れたメンバーです。	2	ー
関東	東京都	田園調布学園　高等部	歌唱	手話を学んだ先にあるもの	何かを学ぶということは自分の知らないことを自分のものにすることだ。私たちの演技にあるように、聴者にとっては手話表現が複雑であるため、ろう者と会話することにおいて学んできたことがうまく活用できないことがある。そこで、その問題を一人で抱え込むのではなく、誰かと一緒に目標を立てたり支え合うことで解決の糸口を見出すことができるかもしれない。ただ私たちにとって大切なことは、後から振り返ったときに、いい思い出となっているように諦めずに自分のペースで壁を乗り越えていくことである。	私たちは手話点字部です。「手話の勉強」という言葉は良い印象を与えません。何度も壁に当たるからです。でも、将来なりたい自分を想像するとなぜか乗り切れるのです。そんなマイペースに進む私たちをご覧ください。	2	○
関東	東京都	豊南高等学校	歌唱・演劇・コント	言語戦隊　手話ッチ　2023(ニイマルニイサン)	東京にあった金町学園と言うろうの子ども達が暮らす施設が閉園の危機にさらされた時の実話を基に、見やすさを考え戦隊ヒーロー風にした話です！阿部前首相夫人や手話部の先輩たちは当時社会に対して多くの協力を呼びかけ、今では金町学園は閉園の危機を乗り越えた新しい施設アレーズとなり、子どもたちの生活が守られています。また、当時の子ども達や職員が立ち上げた団体や、当時活動に携わった手話部の先輩たちの手話に関する現在の取り組みもついに世界にまで進出し始めた今、そんなすべてを今の部員たちで詰め込んで、この１０年くらいの手話に関する活動や報告を取り入れた見てわかる内容にしました。	私たちは以前閉園してしまいそうだった東京の金町学園と言う、ろう児の施設を安倍元首相夫人たち守った手話部の先輩たちのお芝居を引き継ぎました！ カットした部分には新しい団体の話も盛り込まれています！	9	ー
関東	東京都	足立東高等学校	手話歌	今しかできないこと	私達の毎日を変えたコロナウイルス。増加していくにつれ、できることが減ってきていた。みんなで行きたかった修学旅行、大切な人に会えない現状。したくてもできないことへの怒りや悲しみがこみ上げてくる毎日だった。コロナが流行しだしてから、5年が経った今、制限されることが減り、マスクで隠れていた顔も見て話せるようになって、みんなに笑顔が戻ってきた。でも過去はもう取り戻せない。戻りに行くこともできない私達には、今を楽しむことができる！ずっと我慢してきたことを今やればいいじゃん！楽しもうよ！もう取り戻せない青春を、今楽しむために、みんなで一緒に”やってみよう！”	ほぼ手話初心者の人が集まりました。「私たちが今この瞬間にしかできないことを、今やる。」そんな気持ちで練習してきました。自分自身と照らし合わせて心で、見て聴いて感じてくれたら嬉しいです！	4	ー
関東	東京都	潤徳女子高等学校	昔話手話語り	ジャックと豆の木 ~ジャックがろう者だったら~	圧倒的多数を占める聴の世界でろう者はマイノリティ的存在である。そして、聴覚障害と一口に言っても、聴力の程度、家族環境、教育環境等でそのアイデンティティは様々である。昔話をアレンジし、ジャックがろう者である設定にした。家の中では手話で自由にやり取りしているジャックが牛を売るというミッションを課される。それは外（聴）の世界への挑戦でもある。様々な経験や困難を経てジャックがろう者としてのアイデンティティを確立させていくまでの道筋を、ナレーション、会話すべて一人で演じる。主語の明確化、ロールシフト、視線の動き、強弱の使い分け、CL（本編）等、工夫した。私たちの挑戦を是非見てください。	手だけでなく、体や表情も使って、相手に伝えることの大切さを日々感じ、「手話で会話をする」ことを意識しながら活動をしています。1人ですべて演じることは初挑戦ですが、学んできたことを活かして頑張ります！	7	ー

第１０回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会【参加チーム演技情報】

ブロック名	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト（300文字程度）	チーム紹介（100文字程度）	参加回数	本大会出場実績
関東	東京都	立川学園	演劇・ポエム	Love & Equality	ある女子高生の初々しいラブストーリー。ある日、ろうの高校生が運命的に健聴の高校生と出会う。コミュニケーション手段が手話と口話で通じず、筆談するしかないもどかしさに一緒にいることをあきらめてしまう。ろう者同士の手話でコミュニケーションする世界で過ごしていると、そこでも伝えたいことが伝わらなかったり、気持ちが通じ合わなかったりすることがあることに気づく。健聴者もろう者も同じだと感じた彼女は、本当に一緒にいたいのは誰か、コミュニケーション手段の違いの壁は越えられるのか、考え始め、行動に移すのであった。「愛と平等」に真っ向から向き合う彼女の奮闘ぶりをお楽しみください。	学校名が立川ろう学校から立川学園に変わり4 年ぶりの参加です。ろうの高校生たちが普段の生活を過ごす中で抱いている疑問や不平等感、様々な思いをパフォーマンスに込めて全国の高校生に届けます。	5	○
関東	神奈川県	横浜南陵高等学校	演劇	「当たり前って当たり前じゃない」	主人公とその友達の三人がある日、劇を観に行こうと話す場面から物語が始まります。友達の１人はろう者で手話通訳がある日しか劇を観ることができず、行きたい日を選べませんでした。そして実際に劇を観に会場へ行くと、車椅子の人や赤ちゃんを連れた母親、おばあさんなど沢山の人が困っているところを目の当たりにしました。そこで主人公達は、自分たちが当たり前にできると思っていたことができない人達がいることに気付き、「人々が支え合っていける世界」について考える物語になっています。この物語を通して、自分の当たり前は他の誰かにとって当たり前ではないこと、人々が支えあう世界にすることの大切さを伝えられたらと思います。	私達は横浜南陵高等学校、社会福祉部です。普段は手話やボランティア等の活動をしています。テーマは「自分の当たり前は他人の当たり前じゃない」です。私達が伝えたい事をしっかり伝えられるように頑張ります！ ！	8	○
関東	神奈川県	横浜富士見丘学園中学校・高等学校	歌唱	Compass of your heart	人間は、年齢や性別、住んでいる国や地域などによって、その生き方は様々でする。そして、さまざまであることがとても大切です。人にはそれぞれに生き方のスタイルがあり、それをお互いに尊重しあうことが、人間のもつ素晴らしさだと思います。しかし、人間はいろいろな理由によって、自信を失ってしまうことが多々あります。私たち自身もそういう時がよくありました。しかし、そういう時こそ、お互いに認め合い、励ましあい、自信をもって生きていくことを忘れてはいけないと思っています。その気持ちを手話で伝えたいと思い、練習をしてきました。	私たちは手話の練習を数年前に始めました。そのため、まだあまりスムーズに手話を行うことはできませんが、手話に込められたメッセージを伝えたいという思いをメンバー全員で共有して、手話を完成させました。	2	ー
関東	神奈川県	英理女子学院高等学校	演劇	クレアとメリル	大陸には二つの国が存在し、その二つの国は初代皇帝の時代から友好関係が続いている。冬の国の王子メリルと春の国の王女クレアの友情物語。二人が幼いころはお互いの国を行き来し、家族ぐるみで仲良くしていたが、些細な出来事で両親同士がもめてしまい二人は会えない環境になってしまった。寂しがり屋のクレアは、メリルに会えない寂しさが原因で深い眠りから覚めなくなってしまった。メリルは手紙を送るもクレアから返信はこない。やっときた返事には、クレアが目覚めないという内容だった。友情の想いがつまったミモザの花束を手にメリルはクレアのもとに向かい、気持ちが伝わりクレアは目を覚ますが、成長したメリルの姿に戸惑いを隠せなかった。	普通という小さな枠から飛び出した人達による霊長類最強の絆を持ったチームです。手話の経験がない中でしたが、手話について私達なりに理解を深めようと大会に向け頑張ってきました。多様な個性をお楽しみください！	初	ー
中部	新潟県	燕中等教育学校	演劇	Only　Oneを大切に	私たちは動物たちの見た目の違いを例として、人間の多様性についてメッセージを発信しました。動物はそれぞれ異なる見た目や特徴を持っていますが、それが武器にもなっています。人間も同じです。私たちは人間も互いに認め合う世の中をつくっていこうと、多くの人に訴えかけていきたいです。	燕中等教育学校のグローカル部です。私達は普段、国際支援活動を行っている部活ですが、今回初めて国境を越えてコミュニケーションを図ることができる手話に挑戦してみました。全員手話初心者ですが頑張ります。	初	ー
中部	富山県	小杉高等学校	演劇	おおきなかぶ	私たちは高校で生活ビジネス系列に所属し、保育や福祉について学んでいます。子どもたちと関わることも多く、子どもたちに劇を通して、手話に興味を持ってもらいたいと考えています。今回は、「おおきなかぶ」をもとにナレーターと演者に分かれて演じます。見ている人が分かりやすいように、ナレーターと演者が手話や演技をするときに、それぞれが注目しえもらえるようなタイミングを考え、演じています。小道具も子どもたちが見たときに楽しんでもらえるように工夫し、制作しました。みなさんに楽しんでもらえるように、手話に興味を持ってもらえるように元気いっぱいに演じています。	私たち小杉高校の保育・福祉分野の10名は保育や福祉について学んでいます。今回初めての出場ですが、楽しく練習をしています。見てくださった方を、私たちの元気なパフォーマンスで笑顔にしたいです。	初	ー

第１０回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会【参加チーム演技情報】

ブロック名	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト（300文字程度）	チーム紹介（100文字程度）	参加回数	本大会出場実績
中部	富山県	龍谷富山高等学校	歌唱	多くの人にエールを届けよう！	私たち龍谷富山高等学校生徒会は「多くの人にエールを届けること」をテーマとして、嵐のカイトを手話でパフォーマンスすることにしました。本校は部活動が活発です。部活動をはじめとし、色々なことに頑張る人たちを応援し、次の活躍を願う気持ちを込めて、パフォーマンスをしました。本校と交流のある、富山聴覚総合支援学校の先生方や生徒の皆さんにもパフォーマンスを見ていただき、できるだけ伝わりやすい表現となるよう、動きや表情に気を配りました。見ていただく皆さんにも私たちの想いが伝わることを念じています。	私たちは、生徒会に所属している２，３年生です。本校では、１年時に全員手話を勉強しています。これをきっかけに手話に興味を持ち、今回のパフォーマンスを通して手話への興味と仲間の絆を深めることができました。	初	ー
中部	石川県	金沢北陵高等学校	応援団	君に届け！　手話の魅力発信応援団	私達は手話の魅力が広がることを願う手話魅力発信応援団となり、初めて手話に触れる人や、普段から手話言語を使っている人、年齢や性別など関係なく、一人でも多くの人の印象に残るパフォーマンスを目指します。そのため、目でも楽しめるような工夫を考えました。曲のイメージにもつながるよう、傘やカラー手袋を使い、曲調や歌詞をイメージしやすいようにしました。また傘の開閉などを利用し、音楽のリズムが目でもわかるように意識しました。予選は曲の部分だけですが、本選版では、曲の前に手話の魅力が広がることを願って、応援団となり、手話を全力で応援するパフォーマンスを行います。	私たちは金沢北陵高等学校２年生５人組です。 一昨年、去年と先輩たちが参加し、楽しそうにパフォーマンスをする姿を見て、自分たちも挑戦したいと思いました。一人でも多くの人の心に残るパフォーマンスを目指します。	3	○
中部	石川県	田鶴浜高等学校・石川県立ろう学校	ポエム	石川の四季	日本は四季がとても美しい国。その中でも石川の「春夏秋冬」は、そのうつりかわりを、はっきりと彩ります。嫌になるくらいの冬の厳しい寒さに、感じる「波の花」の美しさ。雪がとけ、待ちわびた陽の光に思わず笑みがこぼれる春。雪どけで水流を増した川沿いに咲く満開の桜。そして、夏、秋と伝えたい風景がたくさんあります。この石川の四季の美しさや儚さを、舞台という１つの大きなキャンバスに手話の美しさで描きます。彩り豊かな「石川の四季」をご覧ください。	田鶴浜・石川県立ろう学校の合同チームです。 一緒に練習を重ねるたびに、お互いへの「信頼」が強く深いものになる嬉しさを感じています。信頼しあえる仲間と一緒に未来への一歩となるよう羽ばたきます。	田：10 石：初	田：○ 石：ー
中部	福井県	啓新高等学校	歌唱・演劇	合唱コンクール	合唱コンクールを題材にした、とある学校のお話です。障害の有無にかかわらず、クラスメートと共に歌いたい。私たちの選んだ曲の歌詞や、手話表現に注目してご覧下さい。	私たち手話部は、手話の練習だけでなく、ボランティア活動などにも積極的に取り組んでいます。多くの方々との交流をきっかけに、様々な考えに触れ、成長していくことも大切にしています。	9	ー
中部	福井県	福井商業高等学校	演劇	私たちのアオハル	コロナで私たちが思い描いていた学校生活は消えてしまいました。私たちの青春（アオハル）はどこに行ってしまったのだろうと毎日のように考えました。しかし、ある日暗い世の中を一掃する出来事が起こります。それは高校生がイベントを企画するというような内容でした。正直、本当にできるのかと不安に思っていましたが今しかできない！と思い参加しました。皆さんもコロナ禍で翻弄されてきたと思います。そんな中で自分なりに過ごしてきた毎日こそが青春（アオハル）だと思います。私たちも様々な思いで過ごしてきました。そんな思いをこの動画に込めました。この動画を通して、皆さんの思うアオハルを読み取ってください！	私たちは手話未経験ですが一生懸命に頑張りました。コロナで制限された学校生活の中でも楽しみを見つけて自分たちなりに頑張ってきました。皆さんにとってのアオハルとは何ですか？この動画を通して感じてください！	初	ー
中部	静岡県	静岡城北高等学校	歌唱・演劇	輝け、私たちの夢	「自分を認められていますか。」「本当の自分を隠していませんか」。知識や経験が不足している高校生の私たちにとって、自分の夢に自信を持って、それを言葉にすることはとても難しいことです。笑われるのではないか、そんなの無理だってあきらめてしまった方が楽なのではないか、そんな葛藤に悩む高校生はとても多いのではないかと思います。でも、どんな状況でも、前を向いて努力し続ける方々がいる。そんな方々を見て思う。輝くことを恐れてはいけない。私たちには無限の可能性があるはずだ。自分を認めて、自分の心に正直に明るく輝けば、それがきっと誰かの勇気になる。みなさんを勇気づける手話パフォーマンスになれば幸いです。	私達は手話に興味を持つ個性溢れるメンバーで結成しました。8人は手話の未経験者です。夢を持ち、自分を信じることの素晴らしさ・美しさを精一杯手話で表現します。私たちが輝けばみんなが輝く、そう強く信じて。	2	○

第１０回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会【参加チーム演技情報】

ブロック名	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト（300文字程度）	チーム紹介（100文字程度）	参加回数	本大会出場実績
中部	愛知県	桜花学園高等学校	演劇	東山動物園ガイドツアー	沢山の人に私たちの街の魅力を知ってほしい。という思いで演技をしました。東山動物園は魅力がたくさんあるけれど他県の人にはあまり知られていないのではないかと思い東山動物園を選びました。「思っていてより広い。」「思っていたよりすごい。」「そうなんだ。」と思っていただけるように工夫しました。これをきっかけに東山動物園について知ってもらい愛知県に興味を持ってもらえたらうれしいです。本選ではもっと愛知県の魅力を伝えるため沢山の観光地を紹介します。	私たちは桜花学園高等学校インターアクトクラブです。私たちが手話と接する中で私たちの住む愛知県の魅力を伝えたい、障がいの有無関係なく刊行を楽しんでほしいと思い、愛知県の観光地を紹介します。	9	○
中部	愛知県	杏和高等学校	ポエム	『雨ニモマケズ』	今、世界中で異常気象や紛争が起こり、困っている人が大勢います。コロナで3年間辛い経験をしたからこそ、助け合いの気持ちを持つ事が大切だと思いました。その気持ちを宮沢賢治の『雨にニモマケズ』で伝えたいと思います。ポエムに挑戦するのは初めてですが、「目で見る言葉」で表現すれば、聞こえる聞こえないにかかわらず楽しめると実感しました。手話を学び始めて間もない生徒が多数なので、表情や情景描写を表現するのが難しかったですが、一生懸命練習しました。また、聾者の方により伝わる手話を教えてもらい、宮沢賢治の言葉に一番しっくりくる手話を選びました。多くの人に助けてもらった私たちにできる精一杯の表現をお届けします。	私たちは、先輩方の手話パフォーマンスに感動し、手話に興味を持って学び始めました。先輩方とは違うジャンルに挑戦しているので練習が大変ですが、手話の魅力を発信できるようにがんばります。	9	○
中部	愛知県	岡崎東高等学校	演劇	勇気をもって踏み出そう	私たちは、JRC部として３人という少ない人数の中で工夫して様々な活動に取り組んできました。その中で、手話パフォーマンス甲子園に出場しようと決意した日から、講師の方のお力を借りまがら頑張って練習してきました。「勇気」というテーマで私たち高校生の身近な場面を取り上げました。練習していく中で私たちも「勇気」の大切さを改めて感じました。新しい環境に飛び込むとき、誰もが不安を感じます。しかし、その先に新しい発見があり、その発見が自分たちをより成長させてくれるのだと思います。皆さんに「勇気」をもって新しいことに挑戦することの大切さを改めて感じていただけたらうれしいです。	岡崎東高校JRC 部です。私達は見てくださった方に何を一番伝えたいのかを考え、台本を自分たちで一から作りました。３人という少ない人数での演劇ですが、皆さんに私達の思いをお届けできるよう、精一杯頑張ります。	7	○
中部	愛知県	古知野高等学校	演劇	スマホの使い方	「〇〇ペイ（電子決済）のアカウントを使って別のデバイスからログインしようと何度も試みられました。お客さまのアカウントを保護するために、アカウントを一時的にロックしました。」こんなメールが届いて驚きました。家庭科の先生から消費生活のトラブルとその対処方法について教えてもらい、一宮市に消費生活センターがあることを知りました。 また、一宮市で数年前に運転中のながらスマホで命を落とした交通事故がありました。未だにながらスマホをしている人を見かけます。私たちの生活になくてはならない便利なスマホですが、改めて皆さんにスマホの危険性について知ってもらうために物語を作りました。	規則が厳しい学校ですが、ながらスマホの危険性と悪質メールの対策方法を劇にしました 慣れない手話でのセリフに苦戦しましたが、去年の悔しさをバネに練習を重ねました。いつも元気な福祉科の団結力を見てください。	4	ー
近畿	京都府	京都八幡高等学校南キャンパス	マジック・手話歌	マジック＆手話歌 「あいうえおんがく♬」	私たちの学校は、同一敷地内に小・中・高等部をもつ特別支援学校があるという全国的にも珍しい高校です。授業だけではなく、学校行事（文化祭・体育祭）や昼休みを一緒に過ごすなど日常的な交流をしています。コロナ禍ではリモートによる交流をしてきましたが、今年度から対面での交流ができるようになり、障がいのある子どもたちと楽しい時間を過ごしています。今回は、子どもたちが楽しんでくれた「マジック」と「手話歌」を発表します。手話初心者の私たちにとって、「あ」から「ん」までの指文字にも苦戦しましたが、子どもたちにも手話が身近なものになってほしいと思っています。	私たちの学校は、同一敷地内に特別支援学校があるという全国的にも珍しい高校です。授業や学校行事、昼休みに交流を重ねています。 手話初心者ばかりですが、子どもたちが喜んでくれたものを発表します。	7	○
近畿	京都府	日星高等学校	歌唱・演劇	高校球児に恋した女子高生の話	高校生のうちにしかかなえられない甲子園という夢を目指す高校球児。そしてその高校球児に恋する女子高生。そんな青春をテーマとしました。高校球児にとって甲子園への出場は高い壁です。そんな高い壁に挫けず頑張っている高校球児を応援しないわけにはいきません。日星高校野球部も甲子園を目指し、日々練習しています。そんな高校球児の練習風景や試合会場で応援しているように、実際の野球ボールや、応援グッズとして使うタオルやメガホン等を用いて応援、恋する気持ちを演技に込めました。高校球児たちに届ける手話での応援を是非ご覧ください。	日星高等学校手話部です。甲子園を目指す硬式野球部を応援し、私たち自身も手話パフォーマンスでの甲子園を目指しています。高校生ならではの青春を謳歌している３ 人です。	4	ー

第１０回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会【参加チーム演技情報】

ブロック名	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト（300文字程度）	チーム紹介（100文字程度）	参加回数	本大会出場実績
近畿	大阪府	淀商業高等学校	歌唱・演劇	手話は言語！ ～ボランティア部の活動を紹介～	淀商業高校に入学した１年生は、ボランティア部の２・３年生と出会い、ボランティア部の活動紹介を受ける。ボランティア部では、地域の手話ボランティアサークルの方から手話を身につけるためにシャドウイングで学んでいた。ろう者の方の動きや表情、表現などを学ぶためにも、地域のろう者の方との交流や手話歌などの活動に取り組んでいる。「手話という言語でいつでもどこでも誰とでも会話ができるようになればいいな。」そんな思いをもって活動をしている日常を紹介する。	淀商業高校のボランティア部では、地域でのボランティア活動を主な活動としています。 コロナ禍によって、地域交流に制限があった中、自分たちにもできる活動の１つとして、手話を学び始めています。	初	ー
近畿	大阪府	久米田高等学校	ダンス	絆	この作品には、理想と現実がかけ離れていることに、悩み、塞ぎ込んでしまう自分のそばには、いつも手を差し伸べ、助けようとしてくれる仲間がいて、どんなに辛いことでもその仲間となら乗り越えていけるという思いを込めています。前半の部分は、人が上に持ち上げられることで「理想」を表し、その「理想」に手が届かないことに対して葛藤する「現実」を表現しています。演技終盤の見せ場では、一人で悩んでいる人に仲間が優しく寄り添い、全員で一歩踏み出すことで、辛いことを乗り越えていくために「大丈夫」という自信を持つことができたことを表現しています。場面ごとに合わせた表情や歌詞をイメージしたダンス表現に注目してご覧ください。	わたしたちは、久米田高校ダンス部「くめだんす」です！ 今回踊らせて頂くのは「絆」という作品です！ 初めての大会作品で、手話とダンスの構成に苦戦しましたが、高校生らしく演技します。応援よろしくお願いします！	初	ー
近畿	大阪府	大手前高等学校	落語	ドラゴン、立つ	騒がしく、少し迷惑な聴者のうさえと隣人で聾者の龍（たつ）の交流を描きます。私は聴者ですが、中学一年生の頃から独学で手話を学んできました。私が手話を学び始めたときに驚いたことをネタの一部にしています。人に指を差すのが失礼ではないということに一番驚きました。でも、動画には入っていません。オチは本選でのお楽しみにしてください。本選では、枕もするつもりです。	初参加で、一人チームです。手話で落語をします。私は聴者で、普段手話を使うことがありません。だから、手話を使うことの出来るこの大会は、とても嬉しいです。正しく翻訳出来ているか分かりませんが、頑張ります。	初	ー
近畿	兵庫県	鳴尾高等学校	歌唱・演劇	シンデレラ	私たちは昨年、本大会に出場したことで、きこえる人だけでなくきこえない人の気持ちを以前より理解できました。そこで、今回はシンデレラの物語を通して、恋をしたり、愛を感じたりすることの奇跡や、手話でコミュニケーションを取ることの素晴らしさを表現しました。また、真実の愛があれば、耳がきこえる、きこえないは関係なく、誰もが幸せになれるということも、劇を通じて感じることができると思います。きこえる人も、きこえない人も、全員で楽しんでもらえるように、劇や歌での表情や口話、もちろん手話にもこだわったところが注目ポイントです。	私たち鳴尾高校総合人間類型は、様々なボランティア活動や社会交流を通じて人間力を養っています。昨年、本大会に出場した経験を活かし、手話や劇により力を入れたので、私たちの想いを伝えられるように頑張ります。	8	○
近畿	奈良県	聖心学園中等教育学校	ダンス	『逢いたくていま』 ～全ての人に～	私たちは今年もサインダンス（手話を取り入れたダンス）でこの大会に挑戦します。今回の発表には、ドラマ『仁ーJINー』の主題歌である『逢いたくていま』を選びました。二人が出会い共に過ごした幸せだった日々、忘れられない思い出や伝えたい想い、そして決して叶うことのない願い。それでもこれからもずっと愛し続ける。そういったこの歌に込められたストーリーを聞こえる人にも聞こえない人にも伝わるよう、ダンスで表現します。手話の正確さや分かりやすい手話表現を追究することに加え、気持ちを表情でも示せるように意識しています。私たちのダンスでこの歌に込められた想いが、全ての方へ届きますよう、心を込めて踊ります。	私たちは聖心学園中等教育学校創作ダンス部です。本校は中高一貫校で、中学1年生から高校2 年生まで学年の壁を越えて明るく楽しく活動しています。この曲の世界観を多くの方々に伝えられるよう、精一杯踊ります。	8	○
近畿	奈良県	奈良県立ろう学校	演劇	今までとこれから	手話パフォーマンス甲子園に対する私たちの想いを込めた作品である。劇には、祖母と姉弟が登場する。祖母と姉弟が話をする中で、祖母が手話パフォーマンス甲子園に参加した経験を語り出す。奈良ろう演劇部は、本大会に第１回から参加している。優勝して嬉しかったこともあれば、悔しい結果に立ち直れない時もあった。周りからのプレッシャーに耐えられない時もあった。それでもなぜ私たちが手話パフォーマンス甲子園に参加し続けるのか。演劇部みんなで問い続け、演技で表現をした。また想い深いこの大会がいつまでも続きますようにと願いも込めた。	全国高校生手話パフォーマンス甲子園に因んだ話をやりたいと思い、私たちにとって手話パフォーマンス甲子園とは何かを考えました。 新しい部員も加わりみんなで相談しながら頑張りました。	10	○

第１０回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会【参加チーム演技情報】

ブロック名	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト（300文字程度）	チーム紹介（100文字程度）	参加回数	本大会出場実績
近畿	奈良県	奈良県立高等養護学校 二階堂分教室	ポエム	伝える気持ち	「おじいちゃん、おばぁちゃん」が大好きな生徒たちが、聾唖高齢者福祉施設へ演習に行くことになりました。勉強した手話でおしゃべりがしたい気持ちはあるのに、きっかけが見つけられません。どうしたらいいのだろう…ふと、見ると楽しそうな笑い声が聞こえています。友達は楽しそうにおしゃべりをしていました。「どうして？」尋ねてみると…。とても大切なことがわかりました。伝えたい気持ちの大切さと言葉以上に伝わる暖かい気持ちがあることを演じます。まだまだぎこちない手話表現ですが、一生懸命演じます。	二階堂分教室です。福祉・くらしコース3年生です。サッカーや陸上・音楽と元気いっぱい本気で部活動を楽しんでいます。手話表現で体験談を演じます。心温まるストーリーをお楽しみに。	初	ー
近畿	和歌山県	橋本高等学校	演劇	稲むらの火	私達は、和歌山県で昭和の時代にあった『稲むらの火』という実話を劇にしました。 この題材を選んだ理由は、近年南海トラフを震源とする地震の発生確率がどんどん上がってきているからです。主人公の濱口梧陵は、自身の稲むらに火を着けて村人を助けました。和歌山県の偉人を知ってもらいたいことも一つですが、地震などの災害は、健常者だけでなく、聴覚障がいの方にも等しく襲いかかります。手話を学んでいる私達も彼のように、警報が聞こえない方々に一刻も早く危険を伝え、命を守る手助けができれば、と考えて練習に励んでいます。	橋本高校は、和歌山県の北部、高野山の麓にある学校です。自分達だけでの練習に加え月2回は外部の講師先生と、そして今回の応募に際しては地域の聴覚障害者の方にもご協力いただきましたので、是非ご覧ください。	4	ー
中国・四国	鳥取県	鳥取城北高等学校	歌唱	城北手話合唱団	私たちにはイギリス、中国、インドネシアと様々な国にルーツを持った仲間がいます。それぞれの国の数え方や曜日、月の表し方に注目し、手話歌の中で表現しました。ろう者の数え方も取り上げ、ろう文化を含め、国、文化、表現の違いはあれど、一人ひとりに特別な毎日があり、この世界に一緒に生きているということをメッセージとしました。また、日本の手話を学んでいるイギリス、中国の生徒が母国語としての英語、中国語を話しながら日本の手話を使って、それぞれの国の数え方を説明します。これこそが「へだたりも何もないこの星はつながってる。」という歌詞を体現した行動であり、世界のバリアを自らの手で取り除いていく瞬間だと思います。	様々な国にルーツを持つ仲間が集まり、各国の手話も織り交ぜて手話歌を披露します。「世界中に溢れてる未来はほらその手の中」の歌詞のように一人ひとりがそれぞれの毎日を元気に過ごそう！という想いを込めました。	10	○
中国・四国	鳥取県	琴の浦高等特別支援学校	ダンス	UDダンスを楽しもう。	障がいのあるなしに関わらず、誰でも楽しめるUDダンスを披露します。「好きだよ」というのは、なかなか照れくさいものですが、手話表現も含めて、相手に伝えるというのは、大切なことだと思います。手話を知らない人にも歌の世界観が伝わるように、半年以上をかけて練習し、表現力を上げてきました。手話はまだつたないですが、「大好きな人に大好きと伝える」ことを頑張りました。	私たちは、得意・不得意に関係なく、毎日楽しくダンスをしています。地域から声をかけていただき、いろいろなステージに出演しています。ダンスの楽しさを伝え、見ている人を笑顔にできるように頑張ります。	5	○
中国・四国	鳥取県	境港総合技術高等学校	歌唱・演劇	つなごう！ひまわりの絆	命の大切さ、平和への願いは誰にとっても同じ。私たちが４年前より取り組んでいる「はるかのひまわり絆プロジェクト」。この活動を通じて地域のさまざまな人とつながっていきたいという思いから、私たちは手話の勉強をし、難聴学級の小学生や ろうの方との交流を始めました。一緒にひまわりの種を植え、天候や虫、鳥たちと戦いながら、一つの命を責任もって育てることの難しさや芽吹いたとき、咲いたときの喜びをともに感じたいと願い、この様子を演劇にしました。一粒の種に込められたたくさんの人々の想いを学び、支えあって生きていることや命がつながっていることをたくさんの人に伝えたいです。知ってください！私たちの「はるかのひまわり絆プロジェクト」	私たちは授業や学校行事、ボランティアの中で子どもからお年寄りまで地域の方々と交流し、たくさんの素敵な方々にお会いしました。その出会いに感謝を込めて、本校の取り組みの一つを紹介します。	10	○
中国・四国	鳥取県	鳥取聾学校	演劇	過去と現在、そしてこれから ～コミュニケーションの見えない壁～	学校や日常生活の中で、生徒は手話を知っていて便利だったこと、店や施設で手話で会話できる人や聞こえない・聞こえにくい人への配慮が増えてきたことに気づきました。昔と現在を比べて、手話やろう者に対する理解がどう進み広がっていったのかを知りたくて、鳥取聾学校のＯＢにインタビューしました。その中で、手話言語条例制定が大きなきっかけとなり、少しずつ手話が鳥取県で受け入れられるようになったことや手話でかかわる楽しさが増えてきたことを知りました。本演技では、現在・過去・未来に渡る物語の中で、コミュニケーションの壁をなくしたい僕たちの気持ちを伝えます。	今年も挑戦、チーム「とりろう」です。話し合いを通して、相手の良さを認め、ともに高め合う良いチームになってきました。演技では、僕たちの前にあるコミュニケーションの壁をなくしていきたい気持ちを伝えます。	8	○

第１０回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会【参加チーム演技情報】

ブロック名	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト（300文字程度）	チーム紹介（100文字程度）	参加回数	本大会出場実績
中国・四国	鳥取県	米子東高等学校	ダンス・演劇	三原色	手話ダンスで「人と人が繋がることの大切さ」を表現しました。題名の「三原色」は主人公３人の色とりどりの人生を意味しています。縁あって出会い、別れ、それぞれ異なった道を歩み、また再会して縁を繋いでいく。そんな生きることの素晴らしさ、人との出会いについて伝えようと力を合わせて創作しました。この３年間、当たり前で当然だと思っていた人との交わりが、とても貴重で大切な宝ものだとあらためて気づきました。自分たちが経験した日々の中で考えたこと感じたものを私たちらしく、手話ダンスで表現しています。	私たちは鳥取県立米子東高等学校ダンス部です。ＹＯＡＳＯＢＩさんの「三原色」をもとに手話と演劇を披露します。１年生部員１０名ですが、明るく元気にパフォーマンスする姿を見て楽しんでください。がんばります！	6	○
中国・四国	島根県	松江ろう学校	演劇	手と心でつながる、わかりあえる喜び	ろう学校の、ある生徒の体験をストーリーの題材にしました。小学校時代にまわりの友達とうまくコミュニケーションができずさみしい思いをしていた少女は、手の言葉（手話）を身につけ、自分の思いが人に伝わる喜びを知りました。高校生になり小学時代の同級生の本当の気持ちを知ったことで、人と心からつながり合うためには、相手の立場に立ったり、わかり合おうとしたりする気持ちが大切だとわかりました。私たちは、勇気を出して、相手に歩み寄り、わかり合う喜びをみんなで感じたいと思います。	私たちは、島根県立松江ろう学校のＲＦＤＫ（ラフォドカ）です。チーム名は、みんなが好きな動物の頭文字R（ラクーン）、F（狐）、D（犬）、K（カンガルー）を使いました。何でも一生懸命、いつも賑やかな4 人です。	2	ー
中国・四国	岡山県	明誠学院高等学校	歌唱・演劇・ポエム・楽器演奏	優しい心が一番大切だよ ～世界中が笑顔で溢れる～	私たちには、演奏会の度に歌い継いでいるメッセージソング「窓の外には」という大切な曲があります。今から25年前、高校に入学して間もなくイジメにあい、15歳という若さで自ら命を絶ってしまった小森香澄という女の子がいました。香澄さんは生前、お父様のパソコンにある詩を残しており、その詩に香澄さんの先輩がメロディをつけました曲が「窓の外には」です。香澄さんの「優しい心が一番大切だよ」という思いが、国境、老若男女なんて関係ない！1人でも多くの人に伝われば、きっと世界中が笑顔で溢れる…外国人や動物、いろんな年齢の人に扮して、優しい心が伝わり、みんなが笑顔になる様子をお届けします。	私たち吹奏楽部は、「勇気・やる気・元気・笑顔」をモットーに日々楽しく活動しています。いじめを苦に自ら命を絶った小森香澄さんの「優しい心が一番大切だよ」という思いを演奏会の度に音楽と手話で伝えています。	5	○
中国・四国	岡山県	岡山県美作高等学校	演劇	僕が君の耳になる	クラス内に聴覚障がいがある女子生徒がいる。最初は彼女をからかう男子生徒が、次第に心を開き、今度は彼女を助ける存在に。手話が二人の仲をよくする手段となる物語。	福祉には、「幸せになる」という意味があります。私たちは、介護される人の幸せを提供する仕事を目指してますが、自分自身の幸福追求も目標にしています。手話甲子園出場に向けてクラスが一体となれよう頑張ります。	6	ー
中国・四国	岡山県	創志学園高等学校	ダンス	この気持ち伝えたい	今の私たちが伝えたい気持ちを込めた3作品をダンスと手話で披露させていただきます。1作品目はリリカルというジャンルのダンスを7人で踊ります。リリカルとは叙情的という意味で曲の歌詞から取れる感情や気持ちをじんわりと綺麗にダンスで表現し伝えます。2作品目はソロ作品です。恋愛をテーマにした曲で片思いや失恋など、叶わゆ思いを等身大の歌詞で綴っており心象風景をおもに一人称で丁寧に描いているのが特徴の曲です。3作品目は元気でキレのあるヒップホップです。「Brave」には勇敢や勇気という意味があります。何かにつまづいている人に、自分たちのダンスで少しでも勇気を与えられるように、7人の個性を活かし踊ります！	こんにちは！ 私たちは岡山県にある創志学園高等学校ダンス部です。全力舞踊～踊れることに感謝～をモットーに様々なジャンルのダンスに挑戦し大会に向け日々励んでいます。 私たちの想いが伝わるよう全力で踊ります！	初	ー
中国・四国	広島県	ノートルダム清心高等学校	演劇・その他 (ｸﾗｼｯｸｷﾞﾀｰ演奏)	あなたは「聴導犬」を知っていますか	「聴導犬」は介助犬の中でも”考える犬“と呼ばれています。賢くて、人が大好きで、感情表現豊かな聴導犬の存在を、お芝居を通して一人でも多くの方に知っていただきたいと考えています。前半のお芝居では、聴導犬を女の子に見立てて演じます。後半では劇の種あかしをし、聴導犬とはどのような存在かを伝えます。また、パフォーマンス中にクラシックギターを生演奏します。予選動画では、ある一組の飼い主と聴導犬の物語を紹介しますが、本選ではもうひと組の飼い主・聴導犬の心温まる物語を紹介する予定です。(237字)	私たちは、広島市内の丘の上にあるノートルダム清心高等学校の手話部です。パフォーマンスでは、「聴導犬」がどんなに素敵な存在なのか、お芝居では本当にあったエピソードを交えながら紹介します。	6	○

第１０回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会【参加チーム演技情報】

ブロック名	都道 府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト （300文字程度）	チーム紹介 （100文字程度）	参加 回数	本大会 出場実績
中国・四国	広島県	広島修道大学ひろしま協創高等学校	演劇	7匹の子ヤギ	有名な童話「7匹の子ヤギ」を協創高校風にアレンジしました。ある日、母ヤギの留守を狙って子ヤギを食べに来たオオカミ。子ヤギたちにあの手この手でドアを開けさせようとするも、子ヤギたちはオオカミに次々と難題を出します。買ってきた香水、おもちゃの指輪、そしてもらったアベノマスクを使って、オオカミは子ヤギたちにドアを開けさせることはできるのか、はたまたできないのか。オオカミがラストで死んでしまうバッドエンドをみんながハッピーなラストに仕上げました。ワクワクドキドキ、そしてちょっぴり笑いのあるストーリーです。	広島修道大学ひろしま協創高等学校の手話同好会です。手話を学びたいという生徒の熱意のもと、昨年始動しました。この甲子園を通じ、さらなる学びや手話の楽しさ、そして最 高の思い出を作りたいと考えています。	初	ー

第１０回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会【参加チーム演技情報】

ブロック名	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト（300文字程度）	チーム紹介（100文字程度）	参加回数	本大会出場実績
中国・四国	山口県	柳井学園高等学校	ポエム	金子みすゞの詩を味わう	私たちは山口県で生まれ、山口県に育ちました。そして、「こだまでしょうか」という詩で有名な金子みすゞさんも山口県の人だと知りました。彼女と同じ山口県人の私たちだからこそ表現できる手話があるのではないかと思い、この詩を選びました。彼女の詩に隠された意味や状況を探っていきたいと思います。詩は「こだまでしょうか」「星とたんぽぽ」「お日さん、雨さん」「転校生」の手話表現を行います。	１年生１名、３年生４名の手話部のチームです。地元の手話サークルで活動している生徒や、聴覚障がい者と手話でコミュニケーションをとり、患者に安らぎを与える看護師を目指す衛生看護科の生徒がいます。	初	ー
中国・四国	徳島県	池田高等学校辻校	演劇	「WORLD」	白い箱の中で何も知らずに生まれ育った少女。何もない日常に美しさを見いだしながら、退屈をしのぎ過ごしていた。そんな少女は、毎日青い空を見て、アリを観察して、壁の向こう側がどんなところか想像しながら日々を過ごしていた。そんな小さな探求心がちその先の未来を変える。偶然出会った、「ナカナカ・ケイ－コ」の元で暮らす事になった少女がたくさんの情報であふれるこの世界で生きていくまでのお話。	私たちは、総合学科でコミュニケーション技術の授業を選択している９名です。手話の勉強を始めたばかりですが、仲間と共に作品を 作ることで「できること」が増え、日々楽しく学んでいます。	2	ー
中国・四国	徳島県	脇町高等学校	歌唱・演劇	私たちにできること	災害時、状況がわからず逃げ遅れる可能性ある人が、出ない社会にしたい。設定は学校での火災時、手話を少しでも覚えたことによって、友だちと一緒に避難することができた。もっとみんなにも手話を知ってほしい。みんなで助け合って、命を大切にする明るい社会にしていこう。	私たちJRC部は、今年度になってから手話を勉強し始めた初心者ばかりですが、「手話をしっかり覚えたい。少しでも誰かのチカラになりたい。」という熱い気持ちだけで今回初参加、とにかく頑張ります！	初	ー
中国・四国	愛媛県	松山聾学校	演劇	もうひとつの「私たちの“ことば”」	中学部から進学し、日常で手話を使っている生徒と、地域の中学校から進学し、あまり手話を知らない生徒、会話も少なく各々が静かに過ごす休み時間。それが今年の松山聾学校の1年生の様子だ。手話は聴覚障がい者にとって大切な言葉であることは理解しているけれど、どうコミュニケーションを取ればいいのか分からない。勇気が出ない…。「この不安や悩みは松山聾学校だけでなく、聴覚障がい者全てが抱えているのではないか？」私たちの日常をそのまま演じ、今の悩みを全国の仲間と共有したい。そして、コミュニケーションの壁を越えようと奮闘する私たちの姿を伝えたい。その思いはただ一つ、「通じ合いたい！君と、ともだちになりたい‼」	今年、手話をあまり知らない生徒が入学してきた松山聾学校。お互いのコミュニケーション方法は違うけど、お互いのことを知り、一緒に前に進みたいという思いは同じです。 今の私たちの思いを全力で演じます。	5	○
中国・四国	愛媛県	済美平成中等教育学校	演劇	もう一つの桃太郎	桃太郎を題材に多様性について考えている。些細なきっかけ１つで、ものの見方や価値観は大きく変わる。この作品は、桃太郎が誰に拾われたかで、その後の物語(人生)が大きく変わっていく。鬼に育てられた桃太郎は、鬼たちとの容姿の違いに戸惑いを感じるが、見た目の違いを受け入れ、今あるものを大切にすることに気付き、みんなで仲良く暮らしていく。今、私たちが暮らしている世界でも、人種、性別、障害や住んでいる場所などにより、偏見や差別を受けることが多い。しかし、私たちは違って当たり前。この作品から、お互いの違いを認め、受け入れていくことや長所を生かしていくことの大切さを伝えたい。	私たちは、手話に興味を持った個性豊かな1、２年生7名で活動しています。出会ってから4年。どんな時でも、とことん話し合うことを大切にしています。学年を超えて、お互いを尊重できる最高に仲の良いチームです。	初	ー
九州・沖縄	福岡県	三井高等学校	演劇	『ぼくのはなし』	私たち三井高校ボランティア部は、仲間とともに様々なボランティア活動をしています。 　今回は、私たちの仲間の「まさたか」が、「自分の話をしたい」「障害のある人のことを考えて欲しい」と言ったことがきっかけとなり、仲間の思いを伝えたいと思い、劇で表現することにしました。 1年生の入学式の時に聞いた「まさたか」の話、部活動での出来事など、３年間の大切な思い出をふりかえりながら、多くの人に知ってほしいことをちりばめました。「まさたか」自身ができない、苦手だと決めて積極的に練習しなかった手話を仲間の力でどうにかしたいという思いと「本当の仲間とは何か？」ということが、観ている人に伝わればと思っています。	私たちは、全員福祉教養コースの生徒です。 ボランティア部の活動で、手話の勉強もしています。学年に関係なく、楽しく活動をしています。今回は、私たちのチームワークの良さを感じてもらえるように頑張ります。	10	○

第１０回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会【参加チーム演技情報】

ブロック名	都道 府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト （300文字程度）	チーム紹介 （100文字程度）	参加 回数	本大会 出場実績
九州・沖縄	佐賀県	佐賀星生学園	演劇	私たちのビフォーアフター	「人とコミュニケーションを取るのが苦手」「どこかの高校に入学出来たとしても、その先が見えない」…そういった、様々な想いを抱えた生徒が多く通う佐賀星生学園。今回は、そんな生徒たちの実体験に基づき、この学校に入学する「ビフォー」の自分と、この学校で過ごして変わった「アフター」の自分を表現しました。辛かった時期を乗り越えて、こうして今活き活きと学校生活を送れている「想いの変化」や「成長」を手話と表情で伝えています。	手を使って、表情を変えて、何を伝えられるだろう？ 手話の無限の可能性を信じ、意欲的に取り組んで来た2 年生チームです！ 今回は、私たちが学校生活を送る中で感じた「想い の変化」や「成長」を手話で表現しました！	初	ー
九州・沖縄	熊本県	熊本聾学校	落語	附子	熊本聾学校は毎年手話落語部が中心となって出場しております。例年、劇やコントと幅広く演じてきましたが、今年は初心に帰って落語を披露します。また、今回は日本手話の表現力に磨きをかける練習に日々取り組んでいます。上手にできるかわかりませんが、「日本手話の面白さ・奥深さへの挑戦」をテーマに掲げて演じます。内容は狂言でも有名な附子です。旦那と太郎冠者、次郎冠者の軽妙な掛け合いをテンポよくかつ愉快に表現したいと思います。また、「まくら」を漫談で行いますので、そちらもお楽しみください！目指せ、優勝旗！	私たち熊本聾学校は今回で９ 回目の出場になります。今年は２ 年生１ 人と１ 年生２ 人で臨みます。熊聾の真髄である手話落語に立ち返り、記念大会に相応しい笑いをお届けします。みなさま、お楽しみください。	9	○
九州・沖縄	熊本県	上天草高等学校	手話ソング	沈丁花	沈丁花の歌に合わせて、歌詞を手話で表現します。 身近な人への感謝の気持ちや「帰る場所があることの大切さ」を伝えます。	手話パフォーマンスアドバイザーの方に実際に手話を教わり、全員で力を合わせ、手話を楽しみながら練習してきました。初めての応募ですが、私達全員で、天草仕込の元気 と身近な人への感謝の身持ちを届けます。２ － ４ 岩本君に考えてもらいました。	初	ー
九州・沖縄	大分県	大分東明高等学校	歌唱・ダンス・演劇	個性は多様～違うからこそ素晴らしい～	学校には個性的な人がたくさんいる。みんな違う。しかし、自分とは違う側面を持つ人を受け入れることは容易ではない。偏見や差別につながることもある。だからこそ、視点を変えて相手を見つめてみよう。勇気を出して声を掛けてみよう。認めることは自分を知ることでもある。人と違ってもいい。あなたはあなたのままでいい。人はみな、違うからこそ素晴らしい。皆がそれに気づき、手をつなぐことができたなら、学校はとても素敵な場所になる。	さまざまなコースの生徒が集まって、楽しく練習しています。今回は『多様性』をテーマに全校生徒にもアピールしていく予定です。手話を通じて、自分たちの思いが伝えられたらうれしいです。	10	○
九州・沖縄	宮崎県	本庄高等学校	コント	ろう者の方との交流の場で感じたこと	きっかけは手話を使ったＴＶドラマでした。手話でろう者の方と話がしたい思いから活動を始めました。最初は手話のYouTubeや本を見て学習しましたが、自分達だけでは限界があると感じました。そんな時「手話パフォーマンス甲子園」のことを知り、これだ！と思いました。宮崎県立聴覚障害者センターの方に相談し、ろう者の方との交流の場を何度も設けていただきました。今回、この交流の中で「タクシーの中での出来事を通して感じたこと」をコントにして、自分たちの思いをスピーチします。この出会いを大切に手話を通じて今後も様々な活動に参加していきたいです。	２ ヶ月前まで手話で挨拶することすらできなかった２ 人ですが、手話パフォーマンス甲子園がきっかけとなり、ろう者の方との交流を通して動画を完成できました。私達の成長とその思いを込めた手話をぜひ観てください。	初	ー
九州・沖縄	鹿児島県	出水中央高等学校	演劇・ポエム	みんな違ってみんないい！ 詩集～わたしと小鳥と鈴と～	金子みすゞさんの詩のひとつである,「わたしと小鳥と鈴と」は,みなさんの中にも見覚えがある詩なのではないでしょうか。小さい頃に習った詩ですが,「多様性」や「ＬＧＢＴ」など,さまざまな価値観がある現在,みなさんにもう一度この詩を思い出してほしいと思い,「みんな違ってみんないい」をテーマに,演劇をします。お母さん二人と暮らす高校生のアイミ。アイミにとってはそれが日常であり,幸せでありました。しかし,みんながその幸せを理解しているわけではないことを知り,ショックを受けます。予選では,ほんの少しの物語を凝縮しました。「みんな違ってみんないい！」ということを私たちなりに表現しました。	私たちは出水中央高校手部です。今回出場する6 人中の4 人は, 今年度から手話を始めました。短い期間の練習でしたが, 部員全員がそれぞれの役割を果たします。3 回目のエントリーです。温かい目でご覧くださいませ。	3	ー

第１０回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会【参加チーム演技情報】

ブロック名	都道 府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト （300文字程度）	チーム紹介 （100文字程度）	参加 回数	本大会 出場実績
九州・沖縄	沖縄県	沖縄尚学高等学校	歌唱・その他（ハンドベル・空手）	童神（わらびがみ）	沖縄の好きな歌ベスト10の1つとして長年親しまれている「童神（わらびがみ）」。作詞は沖縄を代表する女性歌手古謝美佐子さんによるものです。この歌の歌詞にある、「イラヨーヘイ、イラヨーホイ」という子どもをあやすしぐさを私達と一緒に手話で表現しましょう！沖縄の魅力を伝えるため、学校で習っている沖縄空手もパフォーマンスの中で披露します。歌詞は、島言葉（しまくとぅば）と標準語の両方で表示します。新型コロナウイルスで交流や旅行も制限されてきたので、私達のパフォーマンスが言葉、文化、障害の壁を越えて、お互いを理解するきっかけの1つになればと思います。	ハイターイ！（こんにちは） 沖縄尚学です。手話初挑戦ですが、今までの練習を活かして笑顔を届けたいです。沖縄空手とハンドベルの演奏も皆と息を合わせて頑張ります。「手話で広がる青春」を一緒に楽しみましょう！	2	ー
九州・沖縄	沖縄県	読谷高等学校	演劇・スピーチ	綺麗な海を守るために	観光客の人たちには、サンゴの問題を、地元の人たちには、サンゴが豊富な役割を果たしていることを伝えたい。そして、沖縄の海やサンゴを守るために出来ることを考えてほしいということがコンセプトです。	私達は、沖縄県立読谷高等学校のＪＲＣ同好会です。校外清掃や、障がいについて学ぶ講座、車イス介助講座など学校の生徒に少しでもボランティアについて知ってもらうために 活動をおこなっています。	2	ー